



新潟県の教育理念

一人一人を伸ばす教育
～一人一人の個性に応じた、
質の高い豊かな教育の推進～

教育目標

学ぶ心 思う心 挑む心

村上市の教育理念

「郷育（さといく）のまち・村上」
～郷（さと）に育ち・郷を育て・郷が育てる～
目指す子どもの姿
「郷に生きている」ことに自信と誇りを持ち、
自らの進路を切り拓いていくことのできる
実力（知力・気力・体力・徳性）を備えた子ども

教育活動スローガン

善悪の眼 本気の耳 挨拶の声

目指す学校像

生徒一人一人に居場所があり、
のびのびと成長できる学校

目指す教師像

人を大切にし、授業を大切にし、
チームで動く教師

目指す生徒像

学ぶ心

自ら学び共に学んで、
考えを深める生徒

思う心

進んで他とかかわり、
相手を思いやる生徒

挑む心

目標に挑んで心身を鍛える
健康でたくましい生徒

- ① 生徒全員参加でつくる「分かる授業」
 - ・「生徒が主役」の授業の魅力ある授業
 - ・教科の魅力を伝える授業
 - ・「全員参加」の手立てと授業のUDL化
- ②主体的に学ぶ学習習慣の育成
 - ・プランニングタイムによる習慣育成
 - ・フォーサイトアプリによる自己管理能力の育成
- ③授業を通じた生徒指導
 - ・授業で規律の徹底、授業で自己有用感
 - ・スキを作らない意図的計画的な指導
- ④ICTの有効活用
 - ・ICTを活用した分かりやすく、効率的な授業
- ⑤謙虚に進化、挑戦する教師
 - ・「こうしたい」を持ち続ける教師
 - ・授業を見ることで学び、改善、進化

数値目標

「授業が分かる」 90%以上
「平日1時間以上家庭学習する」 80%以上
月1回以上の授業参観した職員 80%以上

- ①自己肯定感、自己有用感を感じる活動
 - ・3年間の意図的、系統的な総合・キャリア
 - ・生徒の手による運営と成功体験
 - ・「一人一役」「適材適所」
 - ・振り返り価値付けで高まる自己有用感
- ②役立つ喜び、つながる喜びを感じる活動による社会性育成
 - ・異学年集団での活動の充実
 - ・地域と連携した貢献活動の実施
- ③道徳教育の充実
 - ・自分のこととして考える道徳の実践
 - ・学年職員輪番制道徳
- ④人権教育、同和教育の充実
 - ・人権尊重の視点に立った学級経営
 - ・小中学校9年間を見通した実践
 - ・「かかわる同和教育」の実践、共有

数値目標

「人間関係良好」「いじめへの認識」「相談できる」 90%以上
「いじめへの即日対応」 100%

- ①健康と習慣、自己管理能力の育成
 - ・全校体制での習慣育成（プランニングタイムの指導+コメントの交換）
 - ・フォーサイトアプリを使った計画・記録・振り返りによる習慣育成
 - ・望ましい生活習慣について意識啓発
- ②たくましく強い心の育成
 - ・挑戦の場の設定+個に応じた支援
 - ・道徳や体験的活動を通しての心の育成
- ③体力の向上
 - ・保健体育の授業等を通して、各自の体力の向上
 - ・運動への取組の推奨

数値目標

「体力向上のための実践を行った」 80%以上
「望ましい生活習慣を意識して生活している」 80%以上

地域がひとつになって子どもを育てる体制の充実

- ①地域・家庭との連携
- ②小中連携による9年間を見通した人づくり
- ③神林中防災教育によるたくましい生徒の育成
- ④「子どものため」に1枚岩になるPTA

教職員の基本的な構え

- ①困り感に寄り添い、粘り強くあきらめない職員集団
- ②生徒にエネルギーを与え、生徒の援助希求をキャッチできる「余裕とゆとりがある職員」

数値目標

10日以上の子休を取る職員 80%以上
職員平均超過勤務 45時間以内

神林地区5地域
まちづくり協議会

神林中学校学校運営協議会

神林地区
青少年育成市民会議